



友朋会理念

『患者さんのために』

contents

ぴよんぴよんハウス

- | | | | |
|-----|--------------------------------|-------|-----------------------------|
| 1 | 目次 | 8 | 看護協会主催職場体験・中学生職場体験 |
| 2~4 | 児童思春期特集 | 9 | 高校生職場体験・地域連携室通信 |
| 5 | 青年期社会スキルプログラム
スマイルコミュニケーション | 10~11 | 行事予定・行事報告
NewFace 上野 隆先生 |
| 6 | クリニック関連記事 | 12 | 理念・診療科の紹介及び診療担当医師一覧表 |
| 7 | 朋寿苑関連記事 | | |

児童思春期特集



平成15年6月から児童思春期外来を開始して約15年が経過しました。平成17年に児童思春期外来棟「とまり木」が完成し、家族の会「おやどりの会」、思春期青年期集団療法「青い鳥」、小児言語訓練「inco」を順次、立ち上げて参りました。今回小児リハビリテーション「ぴよんぴよんハウス」が開所されるにあたり、大変うれしく思います。

当院の児童思春期外来は、いわゆる「子どもの精神科」として、不登校や抑うつ、自傷、拒食など中高生の精神的問題に取り組んで参りましたが、徐々にAD/HD、自閉スペクトラム症など、小学生や就学前の幼児が来院対象として拡大し、「療育」的観点が必要となってきました。周囲からも「嬉野にも小児リハを作て！」との希望が多数寄せられるようになり、本当に『念願の』開所となりました。

今後も皆さまのご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

平成30年9月

精神科 富松眞之



ぴよんぴよんハウス

小児リハビリテーション開始のお知らせ

平成30年9月より、小児リハビリテーション^{※1}を開始しました。発達に関する困りごとの中でも、特に運動の不器用さや体の硬さ、それに伴う身の動作や道具使用の難しさなどを対象として、リハビリを行います。

当院では児童思春期担当の医師による専門的な診察や治療が行われており、発達に不安を抱える方々への支援を積極的に取り組んでいます。児童思春期外来にて初回の診察後、心理士や言語聴覚士、作業療法士等の専門的療法が必要と判断されれば、リハビリ等の療法開始となります。発達障害全般を対象としており、小児リハビリテーション訓練室にて実施します。日常生活の困りごとを聴きつつ、運動機能や感覚機能の発達過程の特徴を捉え、子どもの持っている潜在能力を引き出していくことを目指しています。訓練室内にはトランポリンやスウィングなどの遊具も揃えており、感覚統合^{※2}過程を刺激する環境を整えています。未就学児から小学校低学年の子どもたちが対象ですが、育児の中での困りごとがある場合、検診などで指摘を受けた場合、保育園や学校での困りごとなどお気軽にご相談下さい。

※1 小児リハビリテーション；発達障害の概念上、正常や異常などの境界は曖昧であり、社会の一員として生活が可能になっている状態を最終目標とする必要があります。様々な認知機能障害や実行機能障害、運動の不器用さ、コミュニケーションの障害を背景とした不適応に対して、療法となる作業活動や遊びを駆使して支援をしていきます。様々な職種とともに取り巻く地域などの環境に働きかけ、結果として子どもにとっての社会への適応を目指していきます。

※2 感覚統合；感覚統合とは、環境のなかで自分の身体を適応させるための感覚情報処理過程であり、この機能障害は、環境に対する適切な行動、運動、学習などを妨げると考えられています。発達障害のある子ども等へのリハビリテーションの一つであり、前庭感覚、固有受容感覚、触覚での感覚情報処理が重視されます。

対象 基本的には未就学児～小学校低学年を対象とします(年齢によらず相談に応じます)。

訓練室の紹介

- 訓練室内:専用の訓練室スペースあり、感覚統合訓練用具各種(スウィング関係、トランポリン他各種)
- 待合室:土足禁止となっており、小さな子どもを連れて来られても安心です。
- トイレ:待合室奥に専用のトイレがあります。安心してご利用頂けます。

訓練の内容

- 療法士:作業療法士もしくは理学療法士
- 訓練内容:身体機能・運動機能の発達に応じた検査、遊びを用いた訓練と作業活動、感覚統合訓練
日常生活動作訓練や指導、自主訓練指導、入園や就学前の練習や環境調整等

受診・小児リハビリ実施までの流れ ※相談における個人情報外部へ漏らすことがないよう対応致します。



小児リハビリを利用するにあたって

- 初診の際は、心理士による事前の面接があり、それから主治医の診察があります。主治医診察によって、専門的療法^{※3}が必要と判断されれば、小児リハビリを担当する作業療法士(もしくは理学療法士)が面接を実施します。もし小児言語訓練も併用の場合、初診時のスケジュールが過密になる場合があります。状況に応じて無理が生じないように対応致します。
- 他医療機関でのリハビリを受けている場合、重複して当院の小児リハビリを受けることが難しい場合があります。その際は、主治医の診療情報提供書等が必要となる場合がありますので、ご相談下さい。

※3 専門的療法:心理士によるカウンセリングや言語聴覚士による小児言語訓練、作業療法士(もしくは理学療法士)による小児リハビリテーション等を指します。

児童思春期特集

小児言語訓練「inco」のご紹介



～私たちは、**ことば**でお困りのお子さんに対し、
ことばの訓練を行っています～

小さな子どもが片言でお話をする姿はとても愛らしく思います。自分の子どもが、喋り始めた時、親は子どもが初めて歩きはじめたときと同じくらいに感動し、その成長を喜ぶものだと思います。それだけに同じくらいの年頃の子どものに比べてなかなか言葉がでてこないことは、親にとってはとても気になる問題です。ことばの遅れは様々な要因が重なり、多くのタイプに分類され、言語聴覚士などによる専門的な評価や対策のアドバイスが必要です。

当院では、平成25年1月から小児言語訓練「inco」が始動し、外来の小児に対する言語訓練を実施して約5年が経過します。現在では訓練を受けた言語聴覚士4名で対応し、ことばに悩む多くのお子さんに対し、ことばに特化した訓練・療育指導・支援に力を注いでいます。

【受診までの流れ】

児童思春期相談室「**とまり木**」(0954-43-0157 代表)
までご連絡下さい。窓口の心理士が相談を受け、初回の診察の調整を行います。
お気軽にご相談下さい。

こんなことに困ったら、悩んだら…

ことばが
遅れて
いるんじゃない?

ことばが
つまっている
みたい…

発音が
気になる…

上手くことばが
出ていない
ような…

読み書きが
心配…

incoとは、

相互的コミュニケーション(interactive communication)からきています。
思いを通わせる方法のひとつである、**ことば**を育むことを願って…

言語聴覚科/野口 嘉之



青年期の発達障害の方が コミュニケーションを学ぶ場所

近年注目を集め、診断を受ける方も増えている「大人の発達障害」。

児童期の発達障害の方向けのプログラムは全国的にも多くありましたが、青年期以降の発達障害の方向けのプログラムは数少ないのが実情でした。そのような中、今年6月に当院にてスタートしたのが、

「青年期社会スキルプログラム スマイルコミュニケーション」です。

《どんなことをやっているの?》

スマイルコミュニケーションでは、コミュニケーションの取り方、やり方を具体的に取り上げていきます。実際に行った「会話の始め方」「会話の終え方」の“具体的なポイント”の一例をご紹介します。と思います。



①会話の始め方

- a) あいさつをする
- b) 相手の状況を確認する
「今、少しお時間よろしいですか?」「今、お忙しいですか?」
- c) OKの場合「話し始める」
NGの場合「引き下がる」「また今度」「いつ頃がよろしいですか?」



②会話の終え方

- A) 相手の話が区切りがいいところまで待ち、その話を受け止める
「そうなんだ~」「へえ、~だったんだね」
- B) 一言の後、簡単に理由を伝える
「ごめんね、用事があるってそろそろ行かなくちゃいけないんだ」
- C) お礼の気持ちを伝える
「またお話してください」



私たちは普段なにげなく、挨拶や会話をしています。しかし、発達障害の方はその障害特性により環境から習慣を自然と学び取ることが難しい傾向があります。今回ご紹介したように改めて、挨拶の仕方、会話の続け方を具体的に丁寧に学ぶことで、「そうだったのか!」という気づきにも繋がっているようです。

《対象となる方は?》

40歳未満で発達障害の診断を受けた方が対象となります。まずは、主治医にご相談いただくか、臨床心理科スマコミュ担当者までご連絡下さい。

少人数アットホームな雰囲気の中、就労や進学等に向けて、楽しくスキルUPできるような環境作りを心掛けています。まずはお気軽にお問い合わせください。

臨床心理科/藤本 律子

ものわすれ メンタルクリニック通信



芹川院長

大楠校区研修会

平成30年9月10日、当クリニック2階アトリハ(通所リハビリテーション)で、「認知症の対応方法について学ぶ」というテーマで大楠校区研修会が行われました。

- ◎主 催：南第9地域包括支援センター
- ◎講 師：芹川佳代子院長
- ◎アドバイザー：居宅支援事業所トゥモロウの川上枝美ケアマネージャー

参加者は総数45名(自治連合会・シニア連合会・民生委員・児童委員・ケアマネージャー等)の方々でした。

基調講演後、8グループに分かれ、「認知症の方の対応で困ったこと」「こんな経験をしました」というテーマで話し合いをして頂きました。活発な意見交換がありました。

質疑応答では、「財布を盗られたという方の対応」「迷子の方の対応」等があげられました。「大楠校区の方々は、皆さん優しい方ばかりですね」という芹川院長の返答に和やかな雰囲気でした。

アンケート調査の結果でも、「とても役に立った」「またこのような機会を設けて欲しい」という意見がありました。

今後も行政や地域の方々へ協力し、喜んでいただける様なクリニックをめざし努力したいと考えます。



平成30年9月10日大楠校区研修会

介護老人保健施設

朋寿苑

TEL0954-42-2900・FAX0954-42-2907



医療法人財団 友朋会の老人保健施設 朋寿苑では、家庭的な雰囲気と利用者さまの個性尊重を第一に、きめ細かなケアプランにそった介護と多彩な生活機能訓練によって、家族復帰を目指しています。朋寿苑は、毎月いろいろな行事を開催しており、ここでは平成30年4月～平成30年9月に開催しました行事の一部をご紹介しますと思います。

そば打ち体験



4月



4月は、そば打ち体験をして頂きました。ご家庭でそばを打ったことがあるという方が意外に多く、皆さん慣れた手つきでそばを捏ねたり伸ばしたり、切る作業まで体験されました。またある方は、「92年生きてきて初体験ばい」と楽しめたり、お孫さんと一緒に体験された方もおられ、「孫と一緒にできて良い思い出になりました」と笑顔で話されていました。

ハンドアロママッサージ



6月



6月には、ハンドアロママッサージを行いました。ラベンダーや檜など…香りも様々。お湯に数滴のアロマオイルを垂らし、お湯の中でマッサージ。その後さらに、オイルでじっくり時間をかけて、手先足先を優しくマッサージしました。自然に手先を動かされたり、「全身気持ちよか〜」等の声が聞かれ、手足の血行はもちろん、お顔の表情も和らいでおられました。

8月



盆踊り

8月には盆踊りを行いました。入所者の方と職員と一緒に「一番音頭」と「炭坑節」を踊りました。「炭坑節」では、おもわず立たれて踊られる姿も見られ、場内は熱気に包まれました。身体を温めた後は、かき氷・綿菓子・駄菓子などをふるまい、「冷たか〜」「綿菓子なんて久しぶり」と言いながら美味しく食べていました。

敬老会



9月



9月には敬老会を行いました。95歳以上が10名で、最年長は98歳でした。表彰後は、友朋会の面浮立倶楽部による舞踊りが披露され迫力満点でした。その後は、スタッフによる出し物「一番音頭」「花笠音頭」「安木節」が披露されました。入所者の方と一緒に練習を積み重ねてきた成果もあり会場全体で踊ることができて、家族様も含めて笑顔多き時間でした。

H30年ふれあい看護体験

平成30年7月31日にふれあい看護体験が行われ、県内の高校4校より6名の参加がありました。

看護体験としてバイタルサインの測定や人形を使つての採血を実施しました。また、体位変換・手浴・足浴を実際に患者さんと触れあいながら体験して頂きました。短時間の看護体験ではありましたが、体験後のレポートでは、「足浴・手浴の後に患者さんからありがとう、と言ってもらえたのが一番うれしかった。」「今回の体験で、より看護師になりたいと思った。」「体験を通して当院で働きたいという気持ちが一層強くなった。」等の感想が聞かれました。参加された6名の方は将来、看護師を目指しており、今回の体験でさらに関心を高める事ができたと思います。

東3病棟/田邊 法子



嬉野中学校 職場体験を受け入れて



今年も嬉野中学校より2名の体験希望があり、二日間治療などの見学をしてもらいました。中学生の印象は、挨拶が元気で笑顔がとても素敵だなという印象でした。

なぜリハビリの職場を選んだの?と質問すると、「スポーツをしている中でリハビリを受ける機会があり、どういう仕事か知りたかった」と答えてくれました。中学生で「理学療法士」や「リハビリ」に関心を持ち、誰かの役に立つ仕事に興味をもつことがすばらしいなと感心しました。

実際に見学をしてもらっている中で患者さんと触れあう機会を作り、コミュニケーションを取ってもらいました。「話す」ということは簡単なようでとても難しく、何を話していいんだろう?と困惑気味でした。リハビリは身体を診て治療する仕事ですが、患者さんとコミュニケーションをとり信頼できる関係を築くことが治療介入の第一歩だと思っています。そのことを少しでも感じ取ってもらえたらいいなと思っています。また、物理療法の機械に興味津々な様子でした。実際に低周波やけん引、ティルトテーブルなど体験してもらいました。珍しい機械ばかりなので驚きと不安が入り混じった表情でした。リハビリではこういった機

械で治療するという事も知ってもらえたと思います。二日間で全部を知るのは難しいですが、リハビリは患者さんに寄り添いその人の今までとこれからの生活を取り戻せるよう手助けする仕事ということを学んでもらえたらいいなと思っています。また、自分たちスタッフも二日間関わりを持って未来のある若者に活力をもらった気がします…!

リハビリテーション科/澤瀬 彩

インターンシップ(就業体験学習)



車いす体験(嬉野高校生)



高齢者体験(嬉野高校生)



足浴体験(鹿島実業高校生)



リハビリ体験(鹿島実業高校生)

7月23日(月)～7月25日(水)において嬉野高校2年生2名、9月25日(火)～9月28日(金)において鹿島実業高校2年生3名の生徒さんのインターンシップ(就業体験学習)を受け入れました。

生徒さんの感想にもありましたが、病院には様々な職種の職員が従事しています。

それぞれの職種が連携して仕事を行っている事を感じてもらえたのではないかと思います。

また今回の見学や体験では自分の将来を見据えて真剣に取り組まれていた姿が清々しく印象的でした。

参加された生徒さんの今後のご活躍を切に願うと共に生徒さんが地域の企業に就職してもらえることを期待して、当会でも魅力ある職場を目指して更に努力して参ります。

総務課/福田 洋史

地域連携室通信

今回は自立支援医療の更新手続きについてご案内致します。

外来通院をされている患者様の中には、外来通院医療費の自己負担割合が軽くなる「自立支援医療制度」を利用されている方がおられるかと思えます(制度利用を申請して受理された場合に限り)。この自立支援医療は1年に1回更新手続きが必要となっており、その更新手続きは有効期限の3ヵ月前から行う事が出来ます。制度の継続利用を希望される方はお住まいの市町村のほか、当院の精神科地域連携室でも代理申請を行う事が出来ます。手続きに必要なものとして、健康保険証(同一保険加入者全員分)、マイナンバー(同一保険加入者全員分)、本人確認が出来るもの(運転免許証、障害者手帳等)、印鑑、障害年金を受給されている方は、前年度分の年金振込通知書又は通帳のコピーです。

また更新の際には、2年に1回診断書の提出が必要となります。診断書提出の有無や、制度について詳しく知りたい方、更新手続き等について不明な点がありましたら精神科地域連携室までご相談下さい。当院で対応が難しい場合は適切な機関を紹介させていただきます。

精神科地域連携室 相談員(精神保健福祉士)
(代)0954-43-0157 (内線)1024、1025

医療福祉課/吉村 佳祐

行事予定



8
月



・認知症カフェ

・盆踊り

(西1、西2、中央1、西5、南西1、南西2、南1、南2、南3、東、リカバリー、朋寿苑、孝心の里、千寿荘)

・森林浴

(西1)



千寿荘盆踊り



西1森林浴



リカバリー盆踊り



9
月

月



・認知症カフェ

・敬老会

(南西1、南西2、南1、南2、南3、朋寿苑、孝心の里、千寿荘)

・森林浴

(西2)

・果物狩り

(リカバリー)



南2敬老会



10
月

月



・認知症カフェ

・陶芸、絵画療法院外活動

(陶芸、絵画療法参加者)

・病棟別レクリエーション大会

(西1、西2、中央1、西5)

・案山子見物

(南西2、南2、南3、朋寿苑)



11
月

月



・町文化祭見物

(千寿荘)

・紅葉見物

(南西1、朋寿苑、孝心の里)

・焼き芋会

(南西1、南西2、朋寿苑、リカバリー)

・バイキング

(南1、南2、南3)

・すみれ会院外活動

(西1)





• 認知症カフェ



• クリスマス会

12

(西1、西2、西5、中央1、リカバリー、朋寿苑、東)

月

• 餅つき会

(南西1、南西2、南2、南3、千寿荘、孝心の里)



• そば打ち会

(南1)



• 認知症カフェ



• 初詣

1
月

(西1、西2、南西1、南西2、南1、南2、南3、
リカバリー、千寿荘、孝心の里)

• 社会見学

(リカバリー)



新Dr.の紹介

うえの たかし
上野 隆



9月1日より勤務させていただいています上野と申します。平成7年に山口大学を卒業し、外科医として医局人事で主に中国地方で勤務後、10年前に故郷である長崎に帰ってきました。その後は高齢者医療に従事していましたが、縁があってこの度友朋会に仲間入りさせていただくことになりました。母が有田町出身であることもあり、佐賀県は物心ついた時より私にとって身近な場所です。

「患者さんのために」を第一に、急性期医療機関の後方支援ならびに地域医療への貢献が少しでもできればと思っています。

友朋会理念 『患者さんのために』

基本方針

- 1 患者さん一人ひとりの立場になって、提供すべき医療を考え、実践する
- 2 在宅での生活を目指した医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
- 3 創設時から継続されている退院支援・生活支援・就労支援の更なる充実のために地域包括ケアシステム・地域医療構想の視点を加える
- 4 芸術療法的な治療空間・アメニティーを重視し、芸術療法を治療技法として高める
- 5 医療安全対策・感染予防対策・精神科医療事故防止・防災対策・防火対策など総合安全対策体制を確立する
- 6 地域医療機関との連携や役割分担による医療を実践する
- 7 地域において認知症疾患医療センターを軸にリーダーシップを発揮する
- 8 児童思春期精神医療を実践し、地域の子どもの健やかな成長に寄与する
- 9 安全で質の高いチーム医療を実践し、地域の医療・福祉の向上に貢献する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者さんの自己決定権を尊重する
- 2 患者さんが自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者さんがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者さんに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者さんに医療的な説明を十分に行う
- 6 患者さんに治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者さんの「基本的人権」を保障する
- 8 患者さんの尊厳を保つ
- 9 患者さんの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者さんの個人情報を守る

診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

*診療時間

- ◎月曜～金曜
- ◎午前部／8:30～12:30
(第1土曜 8:30～12:30)
- ◎午後部／13:30～17:00
- ※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

*休診日

- ◎第2・3・4・5土曜、日曜、祭日
- 年末2日、年始3日間

*予約診療

- ◎待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。

*眼科の診療時間

- ◎月曜日 午後のみ13:00～17:00
- ◎水・金曜日 午前10:00～12:30
午後13:30～17:00

診療科	月	火	水	木	金	土	備考	
精神科	新患	吉本静志 前田直子	渡邊 至 松尾勝久 吉本静志	渡邊 至 光吉幸次 菅高一博 田中邦宏 PM 富松	田中邦宏 松尾勝久 奥 栄作 三根禎行	奥 栄作 富松眞之 松尾勝久 PM 三根		
	再来	富松眞之 松尾勝久	奥 栄作 田中邦宏 前田直子	吉本静志 中山 享	中山 享 三根禎行 菅高一博 渡邊 至	予約者のみ		
	専門外来	精神科一般、ものわすれ、児童思春期、うつ病メンタルヘルスなどご希望がありましたら、ご相談ください。						
内科	上野 隆	竹下吉明	岡本純明	林原歳久	榎真佐史	非常勤医師		
泌尿器科	倉富一成	江原 孝	倉富一成	江原 孝	倉富一成	予約者のみ	午後は事前連絡	
眼科	崎戸晶子 (13時～)		崎戸晶子 (10時～)		崎戸晶子 (10時～)		(月) 午後13:00～17:00 (水・金) 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00	

H30.11



医療法人財団 友朋会

〒843-0301
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919
電話:0954-43-0157
FAX:0954-43-3440
E-mail:info@yuhokai.com
URL:http://www.yuhokai.com/



- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 認知症疾患医療センター 0954-43-0003
- リハビリセンター「ほほ笑み」 0954-43-0194
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 朋寿会 通所リハビリ 0954-43-0233
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
- ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目15-28